

らんぞん RANZAN んぞん



志賀小学校運動会=R7.5.24

- ◆ 第2回定例会報告 主な議案 P 2
- ◆ 議案審議結果/委員会報告 P 3
- ◆ 一般質問10人が町政を問う P 4 ~9
- ◆ 小中特別委員会/編集後記 P10

令和7年第2回定例会傍聴者 50人



令和7年第2回定例会

第2回定例会は、6月3日から10日までの会期で開かれた。町長から報告3件、承認2件、諮問1件、人事2件、条例5件、予算1件 計14件の議案が提出され、すべて原案通り可決した。また、請願1件、委員会提出議案4件、議員提出議案3件も審議された。

議案第29号 一般会計補正予算

歳入歳出

1億373万円追加

総額69億9373万円

主な歳入

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

1億302万円

埼玉県保育所等物価高騰対策給付事業補助金

50万円

主な歳出

物価高騰対応重点支援給付金(不足給付)支給事業

3万円 3300人分を

予算化 1億302万円

Q 対象者への案内は、

A 7月下旬から8月上旬に通知発送予定。

保育所等物価高騰対策事業補助金

電力・ガス・食材料費を

定員数に対して補助

101万円

企業誘致条例に基づく雇

用促進奨励金 50万円

Q 対象者は、

A 駅周辺に立地したドラッグストアのス

タッフで社会保険に加入し、1年間継続雇用して

いる者。(1人10万円)

道路修繕事業

町道の舗装修繕

1300万円

比企広域市町村圏組合負担金

嵐山消防団活動服50人分

(消防団員100名分を2年間で負担)

132万円

志賀小学校管理事業

志賀小学校のブランコの修繕

43万円

学校給食運営管理事業

カーستッパーの交換、漏電ブレーカーの修繕等

40万円

議案第28号

嵐山町立学校設置条例の一部改正

再編後の嵐山町立小学校・中学校の校名を決定。

【新校名称】

嵐山町立武蔵嵐山小学校

嵐山町立武蔵嵐山中学校

Q 武蔵がついた経緯は、

A 一般公募の際、武蔵嵐山という名称が多

かったことや町民の投票の結果をふまえて選定。

諮問

人権擁護委員

竹之下 司 氏(再任)

同意

監査委員

原 義彦 氏(新任)

同意

固定資産評価審査委員

中西 敏雄 氏(新任)

可決意見書(要約)



意見書全文は
こちらからご
覧になれます

パレスチナ自治区ガザへの即時恒久的停戦と人道支援を求める意見書の提出について

イスラエルは「自衛

権」の名の下に、交戦の均衡性原則の許容範囲をはるかに超える数のガザの民間人を殺害しています。ガザ地区の医療や食料、保健状況は悪化し続け、危機的飢餓状態です。世界各地で若者の抗議も継続しています。イスラエルに対してガザ攻撃を停止し、パレスチナ、イスラエル双方が恒久停戦の交渉テーブルにつくよう働きかけることを求めます。また、ガザ地区の検問所開放と食料・医療品の安全な搬入が実行できるよう、イスラエルや国際社会へ訴え、努力することを求めます。

提出先

衆参議長、内閣総理大臣、外務大臣

地方消費者行政の維持強化のため国の交付金措置の継続を求める意見書の提出について

消費者庁は、創設以来、地方消費者行政を推進・強化するための交付金を地方公共団体に交付してきた。しかし、その交付金が令和7年度末をもって終了時期を迎える。国の交付金措置が終了すると、消費者被害防止施策全般の継続が危うくなる。消費者のくらしの安全・安心を守り、事業者の取引適正化と健全な発展に貢献している地方消費者行政の体制と施策が維持・推進されるよう、国は、地方公共団体に対し財政支援の継続・拡充実施を求める。

提出先

衆参議長、内閣総理大臣、財務大臣ほか

町長提出議案（賛否の分かれた議案）

全ての議案賛否は
こちらからご覧に
なれます



議案 番号	議 案 名	審議 結果	佐 藤 弘 美	竹 内 隆 哲	橋 本 将	宮 本 大 裕	狛 守 勝 義	小 林 智	藤 野 和 美	吉 本 秀 二	青 柳 賢 治	畠 山 美 幸	川 口 浩 史	渋谷 登美子	森 一 人
	※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました														
議案 第27号	嵐山町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正す ることについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	議
議案 第28号	嵐山町立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正するこ とについて	可決	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	×	●	長

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。

議員提出議案・請願

議案 番号	議 案 名	審議 結果	佐 藤 弘 美	竹 内 隆 哲	橋 本 将	宮 本 大 裕	狛 守 勝 義	小 林 智	藤 野 和 美	吉 本 秀 二	青 柳 賢 治	畠 山 美 幸	川 口 浩 史	渋谷 登美子	森 一 人
	※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました														
発委 第2号	嵐山町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議 長
発委 第3号	嵐山町議会会議規則の一部を改正する規則の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
発委 第4号	嵐山町議会傍聴規則の一部を改正する規則の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
請願 第4号	パレスチナ自治区ガザへの即時恒久的停戦と人道支援を求める意見 書の提出を求める請願書	採択 すべき もの	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
発委 第5号	パレスチナ自治区ガザへの即時恒久的停戦と人道支援を求める意見 書の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
発議 第3号	地方消費者行政の維持強化のため国の交付金措置の継続を求める意 見書の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
発議 第4号	現国立女性教育会館施設の適正規模での存続を求める意見書の提出 について	否決	×	●	●	×	×	×	●	×	×	×	●	●	
発議 第5号	日本学術会議法案に反対する意見書の提出について	否決	×	●	×	×	●	×	●	×	×	×	●	●	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。

総務経済常任委員会

（4月4日・21日・5月14日）

- 地域交通のあり方について
- 地域産業の活性化への取り組みについて

● 地域交通のあり方について

長寿生きがい課よりタクシー券補助事業ヒアリングを行っ
た。（主な質疑応答）

問 令和7年に補助事業を見直すとしているが、その後は、

答 移動販売が3月から始まった。タクシー券補助などの
利用状況を観察し、関係4課で協議を行う予定。

問 タクシー券事業継続の意向は。

答 今後の協議ではあるが、利用者も慣れているので、他
の制度に変えるのは難しい。

● 地域産業の活性化への取り組みについて

企業支援課より現状についてヒアリングを行った。

文教厚生常任委員会

（4月4日・18日・5月9日）

● 子どもの権利について

子どもの意見表明権を議会基本条例に加える条項・条文を
検討。委員会案を議会運営委員会に付すこととした。

議会運営委員会の協議の結果、議会基本条例第6条第5項
に「議会は、こどもの意見表明権を尊重し、こどもの意見
表明の機会の確保に努めるものとする。」との条文を加え
る改正案となった。

● 子どもの権利に関する講演会の開催を決定。

日時 7月7日（月）午後2時から

会場 役場204・205会議室

講師 新島一彦氏・木附千晶氏



委員会報告書は
こちらからご覧
になれます

一 般 質 問

10人の議員が町政を問う



一般質問とは

議員が町の行財政全般について質問し、所信の表明を求めるものです。町の考え方をチェックし、町民の思いをサービスに反映させるという大切な役目を果たしています。

※本文は質問した議員本人の責任で要約した原稿を掲載しています。

※各議員の質問動画はYouTubeにて配信しております。二次元コードによりご覧になれます。

1 宮本 大裕

- 質問事項 ◆防犯対策について
- ◆不登校児童生徒の対応について
 - ◆嵐山町の豊かな自然を生かした事業と人材育成について

2 橋本 将

- 質問事項 ◆自転車の青切符導入について

3 狛守 勝義

- 質問事項 ◆「らんざんラベンダーまつり」について
- ◆学校橋近くの菜の花畑と「ラベンダー園」の運営について
 - ◆嵐山町菅谷地区都市再生整備計画について
 - ◆「金婚・ダイヤモンド婚のお祝い」について

4 竹内 隆哲

- 質問事項 ◆町の選挙について

5 畠山 美幸

- 質問事項 ◆飼い主のいない猫への対策（地域猫活動）
- ◆ペットボトルキャップ分別回収事業の拡大について
 - ◆自動販売機で嵐山町のお土産販売について

6 藤野 和美

- 質問事項 ◆農業振興について

7 青柳 賢治

- 質問事項 ◆5月から戸籍法改正が施行されることについて
- ◆米価格高騰が地域農業に与える影響について
 - ◆子どもたちの安全を守ることについて

8 小林 智

- 質問事項 ◆町道の維持・管理について

9 吉本 秀二

- 質問事項 ◆嵐山駅西口広場における利用者の公益性に対する考えについて
- ◆地域おこし事業について
 - ◆地域を越えた子供たちの交流の活性化について

10 川口 浩史

- 質問事項 ◆今年の平和事業について
- ◆駅西歩道の拡幅について
 - ◆学校の安全について



みやもと だいゆう 議員
宮本 大裕



防犯対策について

問 強盗被害の状況と防犯対策は。
地 本年に入り、住宅侵入窃盗が増加。町公式Lineや広報で注意喚起し、警察及び地域等各種団体と連携強化を図る。防犯カメラ付き自動販売機は一定の効果がある。

不登校児童生徒の対応について

問 教育機関との連携と支援状況は。
教 スペシャルサポートルーム・さわやか相談室・嵐山町教育相談室・子ども家庭支援センター・広域適応指導教室との連携。『出席扱い』に係るガイドライン』に基づき民間対応をしている。

問 自分の力で衣食住を確保する『生きる力』を身に付けるため、嵐山の豊かな自然の中で農業の後継者を育成する教育環境を整備しては。
教育長 すべての子どもが自立した『生きる力』を身に付けるため、社会と関わる体験の場を築きたい。

自然保護活動及び環境資源の活用に関する事業状況について

問 事業実績と人材育成は。
環 町内ボランティア団体と連携し、樹木更新・下草刈りを実施。環境教育を推進し、関係団体への積極的支援と情報発信を行い、後継者育成に努める。

問 『ネイチャーポジティブ宣言』を行う考えは。
環 嵐山の自然を次世代につなぐのは重要。自然保護に関する情報を積極的に発信し、ボランティアの育成状況を鑑み判断する。

町長 嵐山町らしく発展するために絶対欠くことのできない方向性であり、令和10年『環境基本計画』見直しに向け、できることから進めて行き、町の在り方を見極めたい。



防犯カメラ付き自動販売機のある嵐山町パトロールセンター

町公式Line登録はこちらから



はしもと まさ 議員
橋本 将



自転車の青切符（罰金）導入

問 令和8年から自転車の交通違反に対する※「青切符制度」が導入される。これまで指導中心であった自転車の交通違反に罰則が科される事の受け止めは。
地 社会的な混乱を防ぎつつ、自転車事故の減少や運転マナーの改善が図られることを期待する。

問 関係機関との協力・連携体制は。
地 小川警察署の運用方針を確認し、周知・啓発を行うっていく。

問 令和11年開校予定の学校には多くの中学生が自転車通学となる。町の動線が変わり、自転車通学する生徒の安全確保が必要と考える。自転車専用レーンや交通区分などインフラ整備の計画はあるか。
地 現在の町道の道路形態からすると、整備が可能な場所はないと考えている。

地 学校統合準備委員会の通学・安全部会で今後検討される。小川警察署と相談して安全確保に努める。

自転車青切符の主な違反	
違反名	反則金額
ながらスマホ	12,000円
イヤホン使用	5,000円
無灯火運転	5,000円
信号無視	6,000円
酒気帯び運転 (道路交通法違反) ※赤切符	刑事罰。3年以下の懲役 または50万円以下の罰金

※交通反則通告制度。通称：青切符

反則金はコンビニなどで支払い可能。
交通ルールは思いやりが大切だね。



地 現在は考えていない。

問 「青切符」の対象者は16歳以上となっている。中学生への指導・教育はどのようにしているか。
教 毎年学校にて、警察署や交通安全指導員の方から交通ルールやマナーを学んでいる。

問 13歳未満・70歳以上または自転車の走行が危険な道路は歩道を使用しても良いとなっている。自転車通学者が増えると歩道を歩いている児童との接触もあり得る。昨今では通学班に車が接触する事故も多発している。小学生にもヘルメット配布またはクッション性のある通学帽子を採用してはどうか。

地 地域支援課長 **教** 教育総務課長 **環** 環境課長 **ま** まちづくり整備課長



いずもり かつよし
伏守 勝義 議員



らんざんラベンダーまつり

問 猛暑でダメージを受けたラベンダーの状況は。

企 毎年、秋と春にラベンダーの生育状況を確認し、枯れた株を植え替えしている。昨年は秋に枯れてしまった株が多かったことから、猛暑の影響が大きいのでは、と判断した。現在の花の状況は、株が成長するまで2年以上要するため、花は咲いているが小さい株が多くなっている。

問 協力金の考え方と駐車料金を値上げした理由は。

企 協力金は、圃場管理費に充てる目的で寄付を募るもので、あくまで任意。寄付された方にはプレゼントを用意している。駐車場料金の値上げは、近隣のイベントの駐車場料金をリサーチした上で、バーベキュー場の料金に合わせて期間限定1000円とした。

問 運営経費予算額と収支見込み、経費内訳の主なものは。

企 運営経費及び収入は、共に1000万円程度を見込んでいます。経費内訳の主なものは、イベント業者への委託料366万円、シャトルバス代70万円、体験スタッフ・駐車場等の人件費270万円、仮設トイレ設置・くみ取り・清掃等委託料98万円、ポスター等印刷製本費30万円、消耗品費80万円、その他雑費である。

問 まつりとして開催する意義は。

企 花の生育状況が思わしくない状況だが、花だけでなくイベント会場を含め楽しんでいただけるよう来場者をお迎えする体制を整えている。「らんざんラベンダーまつり」という名前で全国的に認知されているので「まつり」という言葉を使って来年度以降に繋げていくものだ。町外のお客様をお迎えでき、町の活性化につながる等、相乗効果は大きいと考えている。



町の選挙について



たけうち たかのり
竹内 隆哲 議員



問 成人年齢が18歳になり、選挙権を早くもつ様になった。若者の投票率だけではなく、町民全体の投票率も問題であり、今後の選挙について伺う。

(1) 近隣市町村の投票率の統計は。

(2) 結果を受けた対応は。

総 (1) 昨年10月の衆議院選では投票率の高い順に、東秩父村63・87%、鳩山町59・79%、小川町58・59%、ときがわ町56・42%、川島町55・26%、吉見町55・25%、滑川町54・75%、嵐山町54・35%、東松山市53・25%、埼玉県全体で51・14%、全国では53・85%である。

(2) 町内の学校全てに啓発ポスター及び標語の募集を行い、小学生から選挙権が開始された高校生までの選挙

への意識づけを行っている。嵐山まつりでは、応募いただいた作品を記載した啓発ティッシュを配布し、年齢制限なく来場者への選挙啓発を行っている。二十歳の集いの際には、(公財) 明るい選挙推進協会が作成したリーフレットの配布を行い、20歳の選挙啓発を実施している。町では、期日前投票所を2か所設け、投票しやすい環境を整えている。郡内での投票率は低い、近年の県内投票率を比較すると、概ね15位以内に入っている。

問 投票場所により不平等にならない環境をつくるべきと考える。統計では、移動時間が5分未満で約2割、20分以上では約4割に近い投票率の低下が、データとして出ている。駅構内、ショッピングモール、コンビニなど目立つ場所に投票所を設けてみてはどうか。

総 受付簿を会場ごとに作成する必要があり、二重投票を招く恐れがある。当日の投票はこれまで通りの方法で行いたい。



はたけやま みゆき 議員
畠山 美幸



飼い主のいない猫への対策

問 (1)事業開始からから避妊・去勢手術を実施した猫の総数は。
(2)最も多かった地域は。
(3)ボランティアの方々は、年間どの程度の自己負担があるか。
(4)今後の課題は。

環 (1)平成28年度から令和6年度までの実施総数は885匹。
(2)町内全域で集計しており、地域別の集計は行っていない。
(3)ボランティアの方3名に聞き取りしたところ、年間約50万円の自己負担があるとのことだった。
(4)どうぶつ基金のさくらねこチケット配布や手術費補助を行っている。今後は、個々で活動するボランティアが団体としてまとまることで協力体制を強化し、活動に賛同する人の増加につながると考えている。



さくら耳(手術済)
オス→左耳カット、メス→右耳カット



問 地域猫活動推進事業費補助金要綱第6条に「団体が行う補助事業の場合は補助対象経費の額とする。ただし、個人が行う補助事業の場合は当該年度において5千円を限度とする」とある。団体の場合補助額はどの程度か。

環 町単費分の補助額は15万円が限度額である。内容を精査して各団体へ配分する。

問 公共施設の窓口に動物愛護の募金箱を設置する考えは。

環 団体として働きかけていたかくと、理解が得られやすいと考える。



ふじの かずみ 議員
藤野 和美



有機農業の状況

問 町内の有機農業の状況は。

環 現在、有機農業者は13名。面積約6.3ha、面積比は約1%である。今年度、町内初の有機農業者4名による団体が誕生した。

鶏ふんの活用

問 鶏ふんの活用状況は。

環 セイメイファームでは、鶏ふんたい肥を生産し、無料で提供している。令和6年度は960トン利用があり、そのうち約50トンが町内で利用されている。

問 鳥インフルエンザの影響で町内の野菜農家等が利用できない課題がある。対策は。

環 場外での利用を検討する。

谷津田の遊休農地対策

問 谷津田の遊休農地対策は。

環 多面的機能支払交付金事業のなかでの景観作物の形成を提案していきたい。あわせて農地バンクを活用

しての対策にも取り組む。

問 果樹を植えることについては。

環 地権者の承諾が必要と考える。

害獣対策

問 害獣対策の現状は。

環 アライグマやハクビシンは箱わなを設置し、シカやイノシシは有害鳥獣捕獲委託事業のなかで駆除している。

問 シカ等へ補助が少ないのでは。

環 県だけでなく、町の支援も前向きに検討していきたい。

安心安全な農産物の普及策

問 町の普及促進策は。

環 有機農業者団体に農産物のブランドディングを提案していきたい。また県の特別栽培認証取得農家を増やしていきたい。

問 町独自の基準でブランドディングする考えは。

環 徐々に進めていきたい。



吉田地区内の谷津田の風景=R7.6.18



あおやぎ けんじ 議員
青柳 賢治



米価格高騰が地域農業に与える影響

問 政府の備蓄米放出によっても米価格の高止まりが続いている。
(1) 令和6年産の相対取引価格は。
(2) 減反政策廃止後の米作付面積の変化と流通の状況は。
(3) 農家への米作りの支援体制に対する町の考えは。

農 (1) 埼玉県の推奨4品種について、JA埼玉中央独自の買入価格を把握している。人気の高い「彩のきずな」は一等で60kgあたり17600円。

(2) 中部・北部の米作りは、ため池農法によるもので、限られた水利のもと、作付け調整を継続しているため、作付面積に変化はない。流通状況は播種前契約によるJA出荷と買取業

者、飲食店、一般消費者への販売。令和5年産が流通する前頃より、常連以外の業者などから購入相談が増加した。

(3) 概ね10ha以上で経営している大規模水稻農家に対し、大型機械購入費の2分の1、上限250万円の町単独補助を行っている。(6年度2経営体へ補助、7年度2経営体へ補助予定)

問 増産に向けての考えは。
農 水のルールもあるが、水を使わない米作りを研究している若者もいる。生産面積を伸ばしていきたい。



町内法人で定着しつつある
直播機による作業(渇水直播)

町道の維持管理について



こばやし さとし 議員
小林 智



問 町道の総延長と舗装率は。

ま 1級、2級、その他町道を含めた総延長は434.6km、舗装率は48.2%である。

問 町道の維持管理体制は。

ま 資機材として舗装の補修用アスファルト及び転圧プレート等、草刈り倒木除去用の草刈り機、チェーンソー等がある。穴埋めや倒木等の修繕作業は、職員6人で実施し、対応できないものは町内業者へ委託、路肩等の草刈りはシルバー人材センターへ委託している。昨年度より会計年度任用職員を2名採用し、週3日草刈り作業を行っている。

問 町道維持管理の予算措置は。

ま 道路維持、道路修繕等の7事業費目で予算化。工事内容によって予

算額は変動するが、通常の管理委託料等は概ね例年と変わらない。

問 美化清掃や地域ボランティアの活用と支援は。

環 地域での美化清掃活動が年2回の他、23団体がまもり隊として登録し、活動している。町は用具や燃料の提供、保険の加入で支援している。

問 地域の個人の方が自主的に道路の草刈りを行うケースがある。特に通学路は県道部分の歩道も多く、走行している車に小石が当たる危険等、賠償責任が発生しかねない。町として支援策はないか。

副町長 個人の自主的な活動では、町が加入する保険での対応は困難。個人での賠償責任保険加入等が必要。町の美化清掃やまもり隊の団体活動での参加をお願いしたい。



吉田新沼付近の歩道
(県道69号)=R7.6.19



よしもと しゅうじ 議員
吉本 秀二



駅西口広場における利用者の 安全性・公益性について

問 メイン通りの横断歩道を警察が設置しない理由は。

ま ロータリー入口と中には設置しないという警察の考えである。

問 小川警察署に相談したところ、町長から要望書が来ないと検討できないとの回答だが。

ま 十分な協議をして整備をしてきた。協議の余地があるというのは初めて確認しているの、今の段階では答弁できない。

問 ロータリーから滑川町方向への一方通行規制は交通の安全と円滑に資する対策と思うが。

ま 交通規制には様々な課題があると考えている。

問 りそな銀行ATMに隣接するイベント広場に時間制駐車場設置（20分無料）の考えは。

ま 都市再生整備計画の中でイベン

ト広場として位置付け、国の交付金等を受けて整備した事業であり、用途を変更して利用するのは難しいと考える。

副町長 横断歩道に関する警察の考えは、歩行者の安全性を優先するが故に、横断歩道は限定的な設置をせざるを得ないということであった。町長からの要望があればということであり、もう一度協議をしたいと思うが、横断歩道の設置も一方通行もハードルが高く、非常に厳しいと考えている。駐車場の整備についても、りそなさんのために町が駐車場を整備するということは考えづらいと考えている。

町長 駐車場は必要ということは何度もお話をさせていただいたが、りそなさんは、駅利用の方が対象と考えており、最終的には駅前に設置する形になった。駐車場の対応ができないなら、ATM設置の拒否ということも質問の中であったが、もし、駅前に設置をしないということになってしまった場合には、今の何倍もの混乱が起こり、利便性から考えても、大変低いものになっていたと考えている。



かわぐち ひろし 議員
川口 浩史



平和事業について

問 今年は戦後80年の節目の年である。節目にふさわしい「平和事業」の内容にするべきだと考える。

(1) 昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞した。このノーベル平和賞の賞状とメダル（レプリカ）を貸し出している。町民の関心を集めるため、講演会を開催し、賞状とメダルを展示するべきと考える。いかがか。
(2) 中学生を広島に派遣し、その費用を補助する考えは。

総 (1) 講演会は実施したいと考えている。賞状とメダルを借り受けるには、展示ケースに収めること、専任の監視員を常時配置すること、賞状とメダルの運搬に美術品専門の輸送業者によること、保険に加入すること等条件があり、管理面を考慮すると難しいと考える。
(2) 中学生を広島に派遣する考えはない。

問 展示中の監視員は、職員等、誰か居れば良く、また、借り受けは東京の事務所に直接行けば良いので、費用はそれほどかかることはないと考えてるが。

副町長 借り受けについては、もう一度内容を確認した上で、検討させていただきたい。

問 広島市は小中高生を派遣する自治体に旅費を補助する制度がある。この制度を利用し、平和の尊さを学んでもらうことは意義あることではないか。再考は。

教育長 広島の記念式典に参加した生徒にとっては有意義だが、中学生全体に広く平和教育を行うためには様々な手段があると考えている。希望者のみ参加するという指導方法は、現実的な形として考えてはいない。



令和6年度嵐山町平和事業パネル展

嵐山町立小中学校再編調査特別委員会

(4月18日・5月2日・16日)

●小中学校再編に伴う教育保障・地域振興・財務計画等について

●中学生のスクールバス運行、通学

【主な意見】

・古里地区はバス、吉田地区は自転車」と一律に決めないで、個々の案件は学校長の判断に委ねるのが良い。

・境界線に近い家庭からは「同じくらいの距離なのに、なぜバスに乗れないのか」と不満が出ると思う。4km以上で地域を区切り、バスを使えるようにした方が良い。

・「柔軟な対応を」という要望は町へ提出している。越畑・吉田・勝田のバス利用については、直線ではなく実測で考え、バスが足りない場合は代替を検討するべき。

・電動アシスト自転車は山道で充電が切れると、普通の自転車よりも大変。距離だけでなく、地形も考えて検討する必要がある。

●新校舎建設（コモンズ）

新校舎に取り入れるコモンズについて、資料をもとに調査研究、さらに講師として江森不二男氏をお招きし、滑川町立月の輪小学校新築時の経緯、コモンズ、工夫した点、評価等を伺った。

【主な意見】

・斬新なものを取り入れている。視察を検討したい。

・建設、維持管理をPFIで行っており、建て終わりでないのは大事な視点。

・PFI事業で民間の技術を取り入れ、その結果成功していると見える。町でも教育の特色を生かした設計をしてもらいたい。



江森不二男氏（前列中央）＝R7.5.16

次回の定例会は 8月28日(木) 開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。
 請願・陳情は 8月20日(水) 午後5時までに提出してください。

編集後記

町議選立候補時、健康ファースト嵐山町を掲げた私ですが、高血圧症と高尿酸血症で朝1回の投薬治療を受けています。加えて、睡眠時無呼吸症候群でシーパップ（睡眠時着装医療器）のお世話になっています。また、月に2・3回は心房細動（不整脈）が発症します。更に、左手薬指は弾発指（ばね指）で最後まで曲げることができません。いずれの病気も日常の生活に大した支障はありません。最悪なのが脊柱管狭窄症です。自宅から嵐山駅まで歩くのに、3回ほど腰をかがめたり、屈伸をしないと歩けませんでした。ユーチューブで腸腰筋を鍛えると改善するとの動画を見て、3年前からインナーマッスル強化に取り組んだところ、かなり改善しました。今では、趣味の登山も大丈夫。継続は「健康」なのです。（吉本）